

これが人の子どもと同じ、「褒めて育てる」ということなのです。

## 飼い主が望むことを してくれるようになる

他にも、犬と飼い主の信頼関係を深める方法はいろいろとあります。犬には、触られることを嫌がる体の部位——耳や目の回り、口、足の先や肉球、お尻と尾など、とても敏感な部分——があるので、その感じやすくデリケートな場所を触りながら、優しく褒めてあげるのはです。少し嫌がる様子を見せても、「大丈夫よ」などと励ましながら触りましょう。すると犬は、嫌だけれども我慢することを覚え、また、我慢すると褒めてもらえることが分かります。少しずつ我慢が上手になっていきます。そうになると、これから起きるかもしれないいたくさんの苦手な経験も、上手に乗り越えることができる犬になるのです。

また、このようなスキンシップは、犬の病気やさまざまな体の異変の早期発見に

もつながり、犬の健康を守ることにもなります。

こうして犬と飼い主に心のつながりができて、コミュニケーションがうまくいくようになる、命令や指示をしなくても、犬が飼い主の望むことをしてくれるようになります。

気がついたら、キッチンで食事の支度をしている時にまわりつかなくなった。カフエにいる時、落ち着いて足元にいられるようになった。洗ったばかりの洗濯物に乗らなくなった。テレビを見ている時に、静かにしているようになった——。

毎日、よく観察し、犬の成長を褒めてあげることで、犬と飼い主の関係は明らかに変わってくるのです。

